



おがさわら

# 議会だより

第 162 号

# いってらっしゃい!

おがさわら丸  
OGASAWARA MARU

3月は巣立ちの季節です。

父島でも母島でもこの子供の巣立ち、一緒に過ごした仲間とお別れで涙と笑顔が溢れる季節なのです。

またいつでも島に帰って来てね! そんな気持ちを込めて見送ります。

いってらっしゃい!! 元気でね!!

## R8年第1回議会定例会トピックス

P2…令和8年度予算決定!

P4…一般質問

P7…こんな事が決まりました!

P8…総務委員会

(レーダー基地調査 / 住宅 / 人口ビジョン etc)

P9…各委員会

P10…議長出張のつぶやき

令和7年度第2回村民と議員の懇談会報告

P11…内地出張報告

P12…お知らせ&編集後記

# 令和8年度小笠原村の予算決定！総額62.5億円！！

令和8年度予算特別委員会 開催日3月17日～18日

## 【一般会計】歳入トピックス

### 主な歳入のポイント！！

- ・村税 5億円(8%)
- ・地公交付税19.7億(31.6%)
- ・都支出金17.6億円(28.2%)
- ・国庫支出金5.5億円(8.9%)

国と都に支えられて、私たちの島暮らしは成り立っていることが分かります。

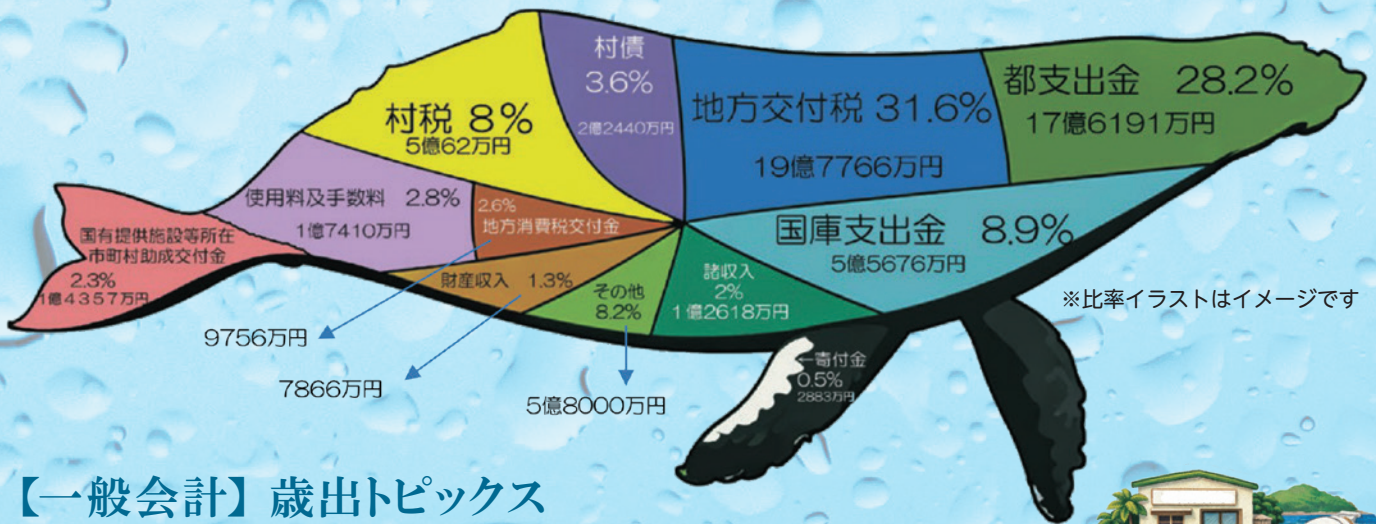
### ★歳入での質問紹介

・ふるさと寄付金が2772万円。2021年の986万円から順調に増えてきているが、今後の展望は？

→寄付件数と金額も近年下がってきている。広報を頑張りたい。

・村民税の歳入は良い見通し？

→予算なので見込めないが、過去3年の平均より、特別徴収義務者、法人税が増えている。



## 【一般会計】歳出トピックス

### ●総務費 + 民生費 + 衛生費



・光ケーブル事業で9千万円の増額しているが？  
→母島の無電柱化工事で6200万円。  
財源として東京都から村に収入がある。

・移住定住促進事業費700万円  
どのような実績と計画？

→アドバイザーが来島、観光協会や各課に  
求人助言、指摘をして改善。求人の強化、  
WEB作成、仕事セミナーをフォローしていく。



・村民交流促進事業費レインボーパス 740万円  
実績と予定は？  
→R7年度は30%の利用率だった。  
R8年度は使用日の制限なし、無記名での配布を  
検討中。

・ケーブルテレビ無償化と自主放送終了等による  
歳入歳出は？  
→歳入は2000万円の減。歳出は1300万円の減。



・母島診療所舗装改修工事 646万円  
破損箇所が心配。時期と内容は？

→年度明けたら早々に診療所入口からを舗装する  
予定。

・父島クリーンセンター今後の検討業務委託  
1269万円は？

→築25年が経過、新しいごみ処理の検討を業務  
委託する予算



・診療所管理運営事業支障木伐採 197万円に  
ついては？

→父島診療所の横の大きな支障木の伐採。  
枝打ちではなく、概ね伐採の予定。

## ●農林水産費 + 商工費

- ・DX 推進事業  
3760 万円大きな金額だが  
その内容は？



→母島 JA 出荷場を改築。  
R10 に 2 階建て各階 400 m<sup>2</sup>を建設予定。  
またトマトの選別機を導入予定。



- ・ラム酒工場の維持管理費 85 万円  
今後の予定は？

→事業継承したい人が名乗り上げてきている。  
4 月の初めに来島予定で意見交換、  
事業継承にむけ検証していく。

- ・観光マーケティング事業 約 300 万。  
長年あまり成果の変化がないのでは？

→全ての成果をだすのは厳しい。アクションプランを  
つくり進めている。



- ・サメ被害防除 140 万円、  
駆除個体数、支払いは？

→父島 119.9 万、母島 22.5 万燃料費、  
エサ代で計上。  
7 年度実績は父島 131 匹、母島  
30 匹。

## ●教育費 + 土木費

- ・学校建設費 仮説避難階段の設置につ  
いては？

→中学校の駐車場から行文線に直接上がれ  
る階段を設置予定。新年度早めに工事し  
ていく。



- ・奨学金貸付金 600 万円。  
なぜで前年度から 10 人も増えたの？

→小笠原高校の卒業生の 8 割を想定。今年  
度は進学率が高く、7 割進学となっている。

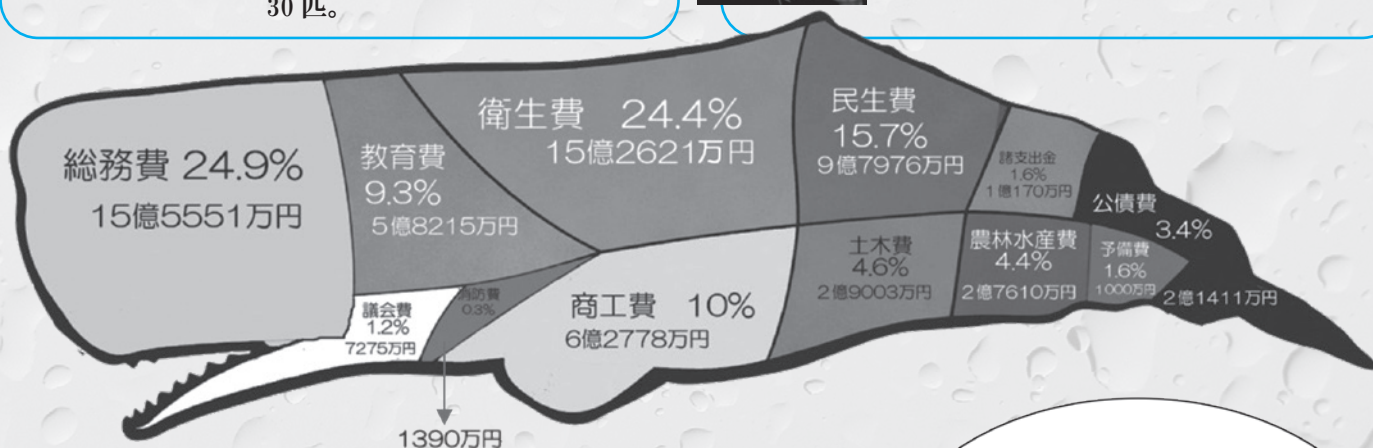
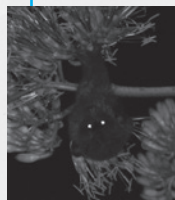
- ・静沢分譲地の区分けの公表は  
いつの予定か？

→ざっくりとした区割で示すのは間もなく  
できる見通し。フレキシブルに区画割  
を検討中。



- ・自然環境保全 天然記念物増額と  
防除ネットの設置予定区域は？

→文化庁の補助事業、毎年多少の増減  
がある。防除ネットは父島 4、母島 1  
計 5 ケ所。



## 主な歳出のポイント!!

- ・総務費と衛生費で約半分! (49.3%)

これは離島の為の人員、輸送コスト、防災対策、医療、ゴミ処理などを  
自前で維持するために高くなっている部分です。

- ・民生費は9.7億円 (16%)

福祉センターや村民会館の管理委託、保育園運営などに使われます。

- ・商工費が6.2億円と大きめ (10%)

観光を中心とした産業振興が重要なことが分かります。

- ・農林水産費2.7億円 (4.4%)

島の農業と漁業をしっかり支えています。

- ・教育費は5.8億円 (9.3%) としっかり確保

学校施設の維持、校舎の建て替えなど予算増となっています。

若手が頑張ってくれていい委員会に  
なった! 村は本当にいろいろな事業を  
頑張ってくれている!

ケーブルテレビが無償化になり自主放  
送がなくなった。

今後は Youtube 等を期待している!



清水委員長  
からの一言

## キャンプ禁止地域に関する条例の見直しを迫る



村長……調査と教育の特例に対して定義付けと議論は必要だが、現時点で見直す予定はない。

子供たちが焚火で料理ができるキャンプ体験を



清水 良一

**問** この条例は昭和48年に施行、その当時日本では本格的キャンプブームが訪れゴミの放置や夜間の騒音といったマナー問題が頻発した。しかし自然体験が子供たちにとって非常に重要な意味や価値が高まるなか、子供たちのキャンプによる自然体験のチャンスが減っている。キャンプのような自然体験の必要性は？また当村の子供達の自然のなかで遊ぶ時間は十分なのか？

**答** キャンプ体験はコミュニケーションや生活のルール、協力することの大切さを学ぶよい機会であり、限られた道具を活用しての生活の工夫や技術の習得など、たくましく生きる力をつける。キャンプ体験は教育的効果がある。スマホやタブレットでのゲームやSNS

を見ている時間が増加、外での自然体験の時間は減っていると推測。個人差も大きい。

**問** 外遊びが減っている中、家族や地域の企画するキャンプ体験は重要ではないか？条例を見直しキャンプのできる環境にしては？

**答** 夏休み等を使って内地で宿泊体験はでき、またキャンプでなくても手頃に自然体験はできる。今この条例を見直すつもりはない。

**問** キャンプ体験は生活がキーワード。また災害の際、長期孤立化が考えられる中、防災キャンプの検討が必要では。

**答** 防災教育のためのキャンプは考えていない。

## 完全給食の未提供、どう捉えるか？

教育課長…大きな課題と捉えている。

村長………必要性を感じる。調査・研究を進める。

その他の  
質問

- ▶ 南鳥島の文献調査
- ▶ 奨学金の負担軽減 ほか

**問** 公立小学校の給食費無償化が始まる。無償化は給食費負担軽減交付金（仮称）としてで実施される。給食の無い小笠原村への交付予定は。

**答** 完全給食実施校が対象、本村には交付されない。現在のミルク給食と補食給食には、7/8が東京都からの交付金を受けている。

**問** 完全給食を実施の他地域に比べ不利益。村として完全給食の提供が出来ていない事は課題として捉えているか。

**答** 大きな課題であると捉えている。教育委員会では課題の調査のため令和3年度に調査を実施。

**問** 建替え中の新校舎への整備の検討は。

給食は全ての保護者の悲願



平野 悠介

**答** 工事費縮減の設計見直しをするが、整備は費用増となるため考えていない。

**問** 開校当初からの要望、議会の陳情採択を経ても実現できていない理由の説明を。調査結果には、保護者負担も小学生で月額約1万円とあり、国の交付があっても完全無償化は困難であったと考える。課題解決に向けては私も取り組みたい。

**答** 教育委員会の調査では各種コスト、約1週間分の食材調達、輸送中を含めた温度管理、村直営での運営といった課題が挙げられている。学校給食の必要性は感じている。課題解決は容易ではないが調査研究を進める。

## ①主権者教育、子供議会を！ ②どうする船員不足！ ③村議会選挙の父島母島の差をなくしたい！



- ①教育長・・・学校から要望あればバックアップする。
- ②企画政策室長  
・・・運行会社の取組を可能な限り協力。
- ③選挙管理委員会書記長  
・・・立候補者の条件に公平性を欠くものではない。

**問** 主権者教育の重要性が増している。村の実施状況、課題は？海士町の様な、小学6年生と大人が真剣に向き合う子供議会を参考にしてみたい。

**答** 父島では議会見学、外部講師を招いた。母島では震災復興の取り組み、生徒会選挙で本物の投票箱を借りた。学校から要望があればバックアップする。

**問** 船員不足が問題になっている。今年5月は減便になっている。本村の状況、今後の予定は？技術系人材確保に向け、島っ子へ給付型奨学金はどうか？

**答** 船員不足は全国的な課題。伊豆諸島開発も運航体制を調整している。求人強化、労働改善等に取り組んでいる。今年は母島航路開設50周年の場を設ける。奨学

金は課題が多いが、島出身の船員は意義がある。

**問** 村議会選挙では受付、道具配布が父島のみで母島ではできない。父島と母島の候補者で差があると思うが？告示日が出港日で運休があり、繰り上げ投票で選挙活動が短くなかった。オンラインなどを駆使して母島支所で受け付けはできないか？選挙長は1人と公職法に明記がない。母島にも置けないか？

**答** 父島母島の候補者の条件は平等と認識。当日まで受付順番が確定することはできないため、届け出場所を一括で管理、交付をするので理解して欲しい。選挙長は1人が前提である。



宮城 ジャイアン

島の子供達にも  
村議会の様子を伝え、  
体感し、知って欲しい！



## 高齢者の働く場と生活を支えるには？



村長……社協と連携し相談と就労支援で対応

**問** 物価高の影響で、年金のみで生活する高齢者にとって暮らしは厳しくなっている。働くことは収入だけでなく、生きがい自立を確立するための相談体制はどのように対応しているか？

**答** 公共施設の清掃や管理業務などを通じ、多くの高齢者が働いている。生活困窮者自立支援法に応じて自立促進を図るために、家計改善支援事業、就労準備支援事業を小笠原支庁総務課行政係へ相談していただき、生活保護との調整・対応していきます。

**問** 社会福祉協議会の取組みは？

**答** 社会福祉協議会では高齢者就労支援のほか、子育て支援・障害者（児）支援・認知症の方の社会

参加支援・食事サービスや葬儀関係等の地域福祉を幅広く担っている。長年に渡り地域の実情に合わせた高齢者の働く場づくりにも取り組んでいる。

**問** 今後の支援は？

**答** 村では社会福祉協議会と連携しながら就労支援を進めている。地域に根ざした活動と安定した事業運営のための、必要な事業や運営費の支援を行い、今後も高齢者が安心して働ける環境づくりに努めていく。

議事録も読んでね！



安藤 重行

安心して暮らせる  
生活を守って！



## 各施設に充電スポットを！



産業観光課長…可能な範囲で協力をしていく

暮らしやすく住み続けられる村を



片股 敬昌

**問** 飛行場、新幹線、バスなど公共の建物や乗り物などで充電スポットが増えている。村としても取り組んでは。

**答** スマートフォンが観光に欠かせないツールとなっている。充電環境の整備は来島者の利便性向上に繋がると認識しているが、まずはフリー Wifi 環境を優先したい。

**問** 村の施設のほか、観光協会、船客待合所、ビジターセンターなどに都や小笠原海運の協力を得て充電スポットを設置しては。

**答** 各管理者の判断で検討いただくことになる。可能な範囲で協力をしていく。

**問** 道後温泉では太陽光を利用した街路灯にスマートフォンを充電できる機能を持たせており、観光客への気配りを感じた。また、調布市では、歩道にスマートフォンが充電できるベンチが設置されている。太陽光を利用したもので、町全体が停電になっても充電ができる。災害時に想定以上の利便性があると思う。太陽光を利用して充電機能を持たせた街路灯など、全国的にこうした社会インフラがすすんでいる。村でも検討しては。いつまでも暮らしやすく住み続けられる村として発展していくことを期待している。

**答** 整備や維持管理にかかる費用、効果はどうか、技術的観点からも検討が必要。

## R7年度、母島のイエシロアリの実情と対策は？



環境課長…去年5～6月は母島北部で88,000頭捕獲。集落付近では3,279頭の捕獲あり。探査を強化予定。

集落をシロアリから守るぞ！



稲垣 勇

**問** 母島のイエシロアリについて今年度の対策における群飛調査結果について伺う。

**答** 母島北部の北港から西浦橋までライトトラップを28箇所設置、去年5月から6月に23日間夜間調査を実施した結果、88,000頭捕獲、全体として去年と同様の結果。母島の集落内、静沢、乳房ダム、中ノ平草木置き場の43箇所で大規模群飛があり、3,279頭捕獲あり、2年連続多数群飛の確認があった。

**問** 集落内で増加している。木造住宅が多い母島家屋への被害について非常に心配であるが。

**答** 集落で多く確認されたため、特に静沢周辺で営巣探査の強化。本年度は北部で新型ライトトラップを集落内に導入し探査を強化していく方針である。

**問** 引き続き集落内に下りてこない対策強化を。

**答** 北部の南下状況、西浦より猪熊谷トンネルから石門入口で300から500頭を確認、引き続き警戒を強化、新型トラップを導入し営巣箇所の駆除を継続、強化していく。

**問** 北部の対策強化、薬剤調査の進捗は。

**答** 薬剤調査環境影響調査を選定し、残留濃度の測定を実施している。

**問** 薬剤なども工夫し、今後は村だけでなく国、都の支援もお願いして欲しい。

**答** 国、都とも連携し、シロアリ防除対策強化を図っていきたいと考えている。

## 議案審議

小笠原村民みんなのクーポン券2026

みんなのクーポン事業を  
2026年も実施します。  
7月1日開始、ひとりあたり  
30,000円になりました。

### 子ども誰でも通園制度



国の制度に合わせた条例  
制定です。  
残念ながら2025年3月  
時点で村内には該当事業  
者はありません。

## 議員出張予定

5月7日開催、東京都町  
村議会議長会の研修に、  
議員全員で行く事が決まり  
ました。期間はドック中とな  
るため、5月5日～5月  
20日までです。

報告第1号	令和7年度小笠原村一般会計補正予算(第4号)(専決処分)	原 案 可 決
報告第2号	令和7年度小笠原村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)(専決処分)	
報告第3号	令和7年度小笠原村一般会計補正予算(第5号)(専決処分)	
議案第1号	小笠原村ケーブルテレビ条例の一部を改正する条例	
議案第2号	小笠原村火災予防条例の一部を改正する条例	
議案第3号	小笠原村義務教育就学児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	
議案第4号	小笠原村ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	
議案第5号	小笠原村高校生等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	
議案第6号	小笠原村乳幼児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	
議案第7号	小笠原村介護保険条例の一部を改正する条例	
議案第8号	小笠原村国民健康保険税条例の一部を改正する条例	
議案第9号	小笠原村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	
議案第10号	令和7年度小笠原村一般会計補正予算(第6号)	
議案第11号 12号	令和7年度小笠原村国民健康保険特別会計補正予算(第4号) 令和7年度小笠原村宅地造成事業特別会計補正予算(第1号)	
議案第13号 14号	令和7年度小笠原村簡易水道事業会計補正予算(第3号) 令和7年度小笠原村活排水処理事業会計補正予算(第2号)	
議案第15号 ～第22号	令和8年度小笠原村一般会計予算 特別会計、公営事業会計 計8件	
議案第23号	小笠原村父島辺地及び母島辺地にかかる公共的施設の総合整備計画 (令和6年度～令和8年度)	
議案第24号	東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約	
同意第1号	小笠原村教育委員会委員の任命について	
発議第1号	議員の派遣について	

## 総務委員会

トピックを掲載しています。  
詳細は公式 youtube で確認  
いただけます。

開催日：3月11日



## 父島に防空レーダー整備

航空自衛隊の車両搭載の防空レーダーを父島に配備するための調査が行われる事が報告されました。隊員も数十名増える見込みです。

## 動物の持込申告が必須に



小笠原への動物の持ち込み申告が2026年4月から正式に始まりました。昆虫や魚など全ての生き物が対象です。おがさわら丸乗船前の申告は忘れずに。持ち込み可能な生き物についても検討が進んでいます。



## 都営小笠原住宅、公募再開



令和3年度から停止していた都営小笠原住宅の公募。今回、再開の報告を受け、公募停止に伴う住宅問題についての継続調査は終了となりました。

## 目標人口は2,500人に



人口ビジョン第3期素案が報告されました。今までの目標人口は3,000人でしたが、全国的な人口減少を受けて2,500人へ修正する内容となりました。併せて総合戦略の改訂も行われています。

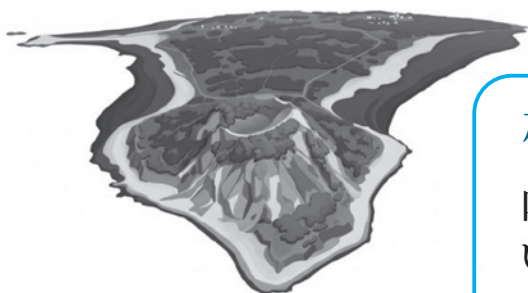


## 人口ビジョンとは

人口の現状を分析し、将来の人口減少の克服と地域活性化を目指して、目標とする将来の人口展望をまとめた計画です。

## 硫黄島調査 特別委員会

開催日：3月11日



### 噴火後、徐々に事業再開

2025年9月の噴火の影響で多くの事業が中止となりました。3月には、遺骨収集事業が再開しましたが、自衛隊の設備復旧に56億円という国の予算が措置されており、完全復旧には時間を要するものと考えられます。

### 硫黄島に戦闘機配備？

防衛省が硫黄島の機能強化を図るという新聞記事について。3月時点では決定されたものはないが、報道先行にならないよう村として申入れたとのこと。

戦闘機配備の記事もあり、遺骨収集への影響が懸念されました。遺骨収集は国が責任を持って行う事業であり、しっかりと事業実施して頂くとの村長答弁がありました。

## 航空路開設推進 特別委員会

開催日：3月11日



小笠原航空路協議会で唯一検討機材となっているAW609は、現在アメリカの型式証明の取得待ちの状況です。2025年中に取得を目指すとの情報が以前ありましたが、今回の報告では型式証明取得の知らせはありませんでした。

委員からは、なかなか進展がない中で、何とか一歩前に進めて欲しい、との意見がありました。村長からは、一歩前に進めるためにも一歩も下がらないという思いで取り組んでいるとの答弁がありました。自民党『小笠原を応援する会』での支援の呼びかけや、東京都における小笠原航空路協議会の継続など、実現に向けた活動が続いています。

## 議会運営委員会

開催日：2月26日

路上喫煙やゴミのポイ捨てを制限する『小笠原マナー条例』（案）については、一度取り下げ、議員間討議の後に再提出するかを検討することとなりました。

# 議長出張報告



出張日	出張用務
12/23	全国離島振興協議会離島振興予算対策本部
1/1	二十歳を祝う会（父島）
1/5	武道始め式（父島）
1/6	母島村民会館開所式
1/12	小笠原村消防団出初式
1/19	住民と議員の懇談会（母島）
1/20	住民と議員の懇談会（父島）
2/9	全国市議会議長会基地対策協議会総会
2/16	東京都町村議会議長会第2回総会
2/17	東京都島しょ町村議会議長会定期総会
2/18	小笠原村議会議員研修会（東京連絡事務所会議室）
3/3	東京都立小笠原高等学校卒業式
3/19	小笠原村立小笠原中学校卒業式



3/28に硫黄島にて日米硫黄島戦没者合同慰霊追悼顕彰式が執り行われ出席してきました。第2次世界大戦激戦地である硫黄島、いまだ半数のご遺骨をお迎えすることができておりません。国は、硫黄島における遺骨収集事業を継続していきます。小笠原村議会としても、少しでも早くご遺骨をお迎えできるよう積極的に協力して参ります。

議長 池田 望

## 第2回住民と議員の懇談会開催

清水 良一

1月19日母島、20日父島で2回目になるワールドカフェ形式の住民懇談会を開催しました。前回、母島31名、父島16名の島民が来ていただいたのですが今回母島では農協の新年会等重なり母島2名、父島11名の参加でした。母島開催につきましては調整不足で申し訳ございませんでした。大人数でも少人数でもなんとか対応することができ議員も臨機応変に学ばせていただくことができました。また、テーマについても前回「議会を知ろう、議員と語ろう」今回「次世代の議会、理想の議会を考える」とテーマが議会側の議会解決のテーマで、村民のみな様と話しづらいテーマだったかと思えます。今後は自由なテーマとより集まりやすい開催日時を検討し、次回は村民とのより活発な意見交換ができる場を模索していきたいと考えています。民主主義の根幹、議会を活性化し、より良い村を作るために今後も共に語り合ひましょう。



父島



母島

## 出張報告

### めざせローカルコミュニティメディア！

清水 良一

2月17日、議員7名で全国町村議会議長会主催の町村議会広報クリニックに参加してきました。民主主義の根幹である地方自治の議会が議員の成り手不足等の問題を抱え議会の活性化が叫ばれている中、議会や議員が何をしているのかわからないという意見が多く上がっていました。改めて広報活動の重要性を感じ、正直今までの「議会だより」は読む人の立場ではなく議会のアリバイ作りのようなものだったと反省しています。

議員は、住民の側からの目線でなくてはならないように議会だよりも住民が主体となったローカルコミュニティメディアだと改めて認識することができたとともに、「知らせる」だけがゴールではなく、共に考え共に行動するような自治意識の醸成を促す広報が必要なのだと強く感じました。

今後も民主主義が発展し、小笠原村がより良い村になるよう、村民が議会との“つながり”を実感できる広報に努めていこうと思っています。

皆様のご理解とご協力をお願いします。



### 耐久討論！激闘の一般質問研修！！

平野 悠介

法政大学の土山希実枝教授をお招きしての一般質問質問力向上研修。過去にない、長時間の研修となりました。

まずは2時間あまりの講義、陥りがちな機能しない一般質問について。論点を入れすぎてぼやけてしまった質問など、自身も注意しなければならないと改めて感じる点でした。更に、どのように一般質問の論点整理を進めるか、議会として取り組むかをワークショップとして実践する事になりました。

今回の研修のために、議長を含め全議員が一般質問を事前に準備してきました。4人ずつのテーブル2つに分かれてワークショップ開始です。各議員が一般質問の要旨をプレゼンテーション、それを本人を含め8人全員で評価してテーブル毎にディスカッション、良かった点と改善点を付箋で見える化していきました。最後に、土山講師による論点整理とより良い質問の進め方のアドバイスという形で、一人一人の一般質問の向上を図りました。最後の一人を終えた時には18時半を回って流石にくたびれました。

この研修が次回の一般質問で反映されているはずですよ。ご期待ください。



# 小笠原村議会 主な予定

## ●内地出張 (5/5 ~ 5/20)

5/7 東京都町村議会議長会  
定期総会・議員講演会 他

## ●村民との懇談会

5/30 19時 父島 地域福祉センター  
5/31 14時 父島 地域福祉センター  
6/4 19時 母島 母島村民会館  
6/5 14時 母島 母島村民会館

## ●令和8年第2回定例会 (予定)

6/24 10時 本会議 (一般質問等)  
6/25 9時 総務委員会  
11時 硫黄島調査特別委員会  
14時 小笠原航空路  
開設推進特別委員会  
15時 本会議 (議案審議)

※現時点での予定です。会議日程については変更がある場合がございます。

## 議会中継&アーカイブ視聴

Youtube 小笠原公式チャンネルにて  
議会中のリアルタイム中継、  
いつでも好きな時にアーカイブ映像  
を観ることができます。

<https://www.youtube.com/@boninlive5930/streams>

※小笠原ケーブルTV放送終了に伴い、  
TVでの議会中継は終了しました。



## 会議録が見られる!

会議での詳しい内容、  
発言をご覧になりたい方は  
会議録をご覧ください。

☆父島

- ・村役場議会事務局
- ・福祉センター図書室

☆母島

- ・村役場母島支所
- ・村民会館図書室

☆PC、スマホ

小笠原村公式サイト→  
議会事務局→会議録

※検索で色々調べられます!



## 編集後記

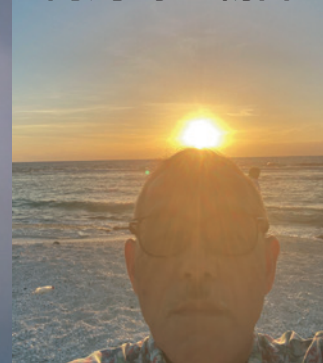
今までにない多くの課題が出てきました。

①「南鳥島への高レベル放射性核廃棄物地層処分の文献調査」に関する村民説明会では会場一杯の村民参加があり、関心の高さがわかりました。活発なご意見が出ました。主権者は村民です。村民の意見を尊重して欲しいと思います。また、これは小笠原だけの問題ではなく、本土で原発の電力を利用している全国民が考える問題だと思います。

② 島嶼防空体制の強化に警戒管制レーダー設置の調査実施で、安全保障の観点から中国等の軍事演習が日本周辺で活発化し、喫緊の対策で検討するとのこと。村民の安全が第一です。ぜひ皆様のご意見を戴きたい問題です。

安藤重行

## 南鳥島の朝日



● 議会だより編集委員 安藤重行 清水良一 平野悠介 宮城ジャイアン

問い合わせ先 小笠原村議会事務局 電話 2-3118 FAX 2-3208 メール [gikai@vill.ogasawara.tokyo.jp](mailto:gikai@vill.ogasawara.tokyo.jp)